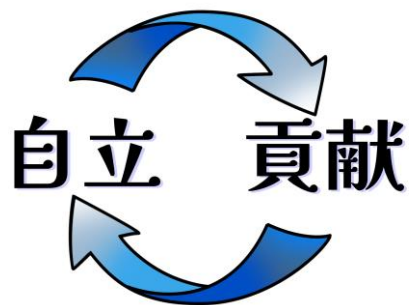


教育計画

教育目標とその具現化について

(1) 教育目標



教育目標にこめられた願い

子どもたちには、たくましく生きぬく「自立」の力を身につけ、その力を他者や社会に「貢献」する心と力をもってほしい。「自立貢献」はそれぞれ独立したものではなく、自立するからこそ、他者や社会に貢献できるし、貢献することでさらに自分自身を高めることができる。子どもたちにはこの循環によって成長して行ってほしいという願いから、教育目標を設定した。

(2) めざす子ども像とそれに対する支援

- ① 自分を好きになり、自分を高める子
 - *子どもの自己肯定感、自己有用感を高める
 - *個に応じた的確な指導・支援をする
- ② 他の人を認め、他の人を大切にする子
 - *互いのことを理解できるようにする
 - *子ども一人ひとりと向き合う

(3) めざす教職員像

- ① すべての人を尊重し、子どもの教育に関わる自覚と責任をもつ教職員
- ② 子どもを理解し、多様な教育的ニーズに対応できる教職員
- ③ 学び続け、互いに高め合う教職員

(4) 指導に関わる基本的な構え

- ① 横の関係の構築
 - ◆子どもを尊重すること
 - ◆子どもの心に寄りそうこと
 - ◆子どもの価値ある行動を認めること
- ② 縦の関係の構築
 - ◆納得がいくように教えること、気づくことができるようにすること